



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

President : Yasuo Ueno Address: 〒659-0074 2-8-304 Hirata-cho, Ashiya, Japan
Mail : uenoashiya@kbd.biglobe.ne.jp
URL : http://www.kobeymca.org/kobe_ymca/ys/ashiya.html

主 題

国際協会会長 A・シナヴァスカーン (インド)
"Together for a Better World 「より良い世界のために、共に」"
アジア太平洋地域会長 ジョウン・ウオン(香港)
"Make a Great Impact" 「大きなインパクトを起こそう」
西日本区理事 鵜丹谷 剛 (神戸クラブ)
"Connecting Local to the World with YMCA"
「つなげよう地域と世界、YMCAと共に」
六甲部部长 小野勅紘 (西宮クラブ)
「一人は万人のために、万人は一人のために」
芦屋クラブ会長 柏原佳子
「豊かなクラブライフを！」
「タレントを惜しみなく発揮しましょう！」

今月の聖句

ナザレという町に行って住んだ。「彼はナザレの人と呼ばれる」と預言者たちを通して言われていたことが実現するためであった。
＜マタイ福音書 2章23節＞

2月第1例会(留学生交流会)

と き: 2025年2月12日(水) 18:00~20:00
と ころ: 芦屋市民センター(別館 218号室)
司 会: 横山徹太郎担当主事

- 開会挨拶 柏原佳子会長
- ワイズソング斉唱 一同
- 聖句朗読 島田 恒ワイズ
- 食前感謝 島田 恒ワイズ
- 会食 お弁当、お楽しみお菓子セット
- 歓談、他己紹介
(同じテーブルの留学生とワイズが紹介しあう)
- みんなで歌おう
大野 勉ワイズ(神戸ポートクラブ)
- 閉会挨拶 柏原佳子会長
- 全員でお見送り・お別れ

第2例会

引き続いて第2例会開催 20:10~21:10
山積する懸案の事項を皆様でよく話し合ひましょう！

会 長 柏原佳子
直前会長 上野恭男
副 会 長 田辺征一・福原吉孝
書 記 上野恭男
会 計 桑野友子
監 事 島田 恒
担当主事 横山徹太郎
六甲部EMC主査 島田 恒

2

Feb., 2025
332号

「節分」

会長 柏原佳子



今年は、何故か2月2日(日)がその日に当たるそうです。季節の行事は子供の頃から大切に守ってきました。節分の豆まきは、縁側やドアから「鬼は外！福は内」と前をまき、瞬時に母がピシャと締めていたその音と雰囲気鮮明に残って

守られています。神戸YMCAの企画で留学生を Home Attend 依頼があったのは何年前でしたでしょうか？故飯田義雄ワイズと柏原が受け入れ、その日は丁度2月3日、節分に当たりました。私は、上野・桑野ワイズと5~6名の台湾の留学生と共に保久良神社散策の計画を立て「猪危険！」の看板に期待半分怖さ半分で出発、彼らの興味は大きく「居ました！」と弾む声！そのスマホには大きな猫の写真！爆笑！猪の期待が薄れそうになった頃、表れました！その時の彼らの興奮は今も鮮やかに思い出されます。我が家に戻り、恵方に向かってお巻きを頬張り、豆まきを楽しみ定時にYMCAに戻りました。故飯田ワイズもやはり保久良神社の豆まきに連れて行かれたそうです。留学生交流会は、今年19回を数えます。場所を変え趣向を変えお料理を変えながら芦屋クラブに残る歴史をつづっています。

1月例会集計

第1例会出席メンバー	11名	例会出席率	出席者	11名	BF切手	
メネット	名		メイクアップ	1名	累計	gm
コメット	名		合計	12名		
ビジター	名		在籍者	17名	ニコニコ	
ゲスト	名		(内広義会員1名)			9,730円
合計	11名		出席率	75%	累計	60,668円

1月例会報告

日時：2025年1月15日(水) 19:00~21:00

場所：ホテル竹園芦屋 飛鳥の間 (敬称略)

参加者：柏原会長、桑野、権、島田、田辺、堤、濱瀬、坂東、福原、船橋(各ワイズ) & 横山担当主事

『新春放談会 2004年・転会前の芦屋クラブの1月例会に参加したことを懐かし思い出しました。

その時の表題を今回使わせていただきました。

H竹園の部屋は、楕円形のテーブルに真っ白なテーブルクロス、人数は少なめですが、全員の顔が見え親しみを覚えます。

2025年「新春放談会」は、前期に続き、後期の芦屋クラブ、六甲部、西日本区のスケジュールを配布し、各行事について話し合いました。

活発な意見交換がなされ、4月には、新たに「六甲部EMC主査」としての提案が加えられました。

今年は、「西日本区大会in神戸」も控えて改めて行事の多さに驚きますが、この雰囲気であればなんとかこなしていけると感じました。

第2例会の市民センターは本館工事中の為、案内されたお部屋には、啞然としました。ドアを開けると薄暗い部屋の中に破れた手ぬぐいがぶら下がっていたのには、びっくりしました。机はベニア板、なんと工芸室だったのです。

表から入るメンバーから「どう行けばいいのか」と場所探しの携帯が鳴り、15分の遅れとなりました。

参加人数が少なく良かったと思ったのは、初めてです♪

恒例の第3例会は、上野書記の退院の祝杯から始まり、留学生交流会、EMC主査の「出版記念講演会」の話題も此処では自由に話し合われます。

なんとなく楽しい集まりです。

柏原佳子

ワイズのEMC講演会で思うこと

先日、芦屋クラブ第二例会にて島田ワイズ(六甲部 EMC 委員)より EMC として、メンバの拡大を目的として六甲部の後援のもと島田ワイズの出版記念講演会を開催する具体策が発表された。大勢の出席者を募り、芦屋クラブへの入会を成功させたいと強く思った。

島田ワイズのご友人等、幅広い人脈から多数の出席が見込める。私達、芦屋クラブ各メンバーも友人、ボランティア活動に興味のある方々に呼びかけ六甲部各支部も参加をしっかりと呼び掛けて頂ければと思う。

今回は、YMCAリーダー会のOBの方々へOB会の記念行事として開催し、島田ワイズの記念講演会チラシ、六甲部、芦屋クラブの冊子、ワイズ参加申請書を郵送し講演会への参加を呼びかけてはどうだろうか・・・勿論、YMCAの協力で名簿の入手は必須項目である。

芦屋クラブ有カメンバーであった「故飯田ワイズ」が、ワイズ活動に理解があり、ワイズに入会するに違いない。メンバー拡大には、リーダー会のOBへの呼びかけが重要で必須項目であると熱く語っていたことを昨日のように思い出す。何とか芦屋クラブをはじめ六甲部メンバー拡大に繋げた成功事例としたい。みんなで強力推進していきたいと思う。 福原吉孝

出版記念講演会案内とお願い

出版記念講演会を4月13日(日)午後2時からJR芦屋駅前「ラポルテホール」で開催致します。コーラスグループ「プティ・タ・プティ」の素晴らしい演奏と、学びと刺激ある(笑)島田講演で楽しんでいただく予定です。ワイズ EMC(新会員獲得)



も目的としております。ご自身はもちろん、関心のある方、新規会員になってくださる候補者もお誘いになっていただきたいと願っています。新著の内容は、自分史、経済・政治の概況、そして最終的に豊かな生き方を目指して、ワイズを含め非営利組織活動に参加することが大切であることを訴えているものです。1月第2例会でも全面的支持をいただき有難うございました。過去、講演会でみなさまに楽しんでいただき、何人かの新入会員を得たことを今回も実現していきたい、みなさまのお力添えをぜひともお願い申し上げます。 六甲部 EMC 主査 島田 恒

ヨーロッパ旅行記

フランスでの、個人旅行で簡単に行ける日帰りツアーを、ご紹介致します。

世界的に有名なシャンパンメゾン、モエ、エ、シャンドンそして、ポメリーの2大メゾンを、訪ねます。では早速行きましょう！パリには鉄道駅が6か所あります。行先によって選びます。今回は東に行きますので、パリ東駅からの出発です。



まずモエ、エ、シャンドンのメゾンにいきましょう。普通列車で約1時間20分エペルネーの町につきます。駅から古い町並みを抜けるとすぐにメゾンに着きます。この町は、世界遺産に登録されていて、ブドウ畑が広がる古いフランスの田舎の自然が残る街です。メゾン見学では1杯のシャンパンが試飲できます。ちなみに、有名なドンペリは有料です。もちろん日本にシャンパンを、送ることも可能です。

私がおすすめのシャンパンメゾンは、エペルネーの町から。列車で30分のランスの街にある老舗のポメリーのメゾンです。

ポメリーのメゾンの地下のカーブには、世界の都市の名前のプレートが記されています。KYOTOの名前のカーブを見つけて、うれしくなりました。メゾンだけではなくランスの街には、藤田嗣治(レオナルド、藤田)画伯の最後の作品の、フレスコ画がある藤田礼拝堂がひっそりとたたずんでいます。又ランスの街中心、ノートルダム大聖堂にはシャガールの青いステンドグラスが、旅の疲れをいやしてくれます。メゾンの見学は、インターネットから予約が可能ですので、機会があれば、是非行ってみたいかがでしょうか？



濱瀬真知子

「日々雑感」

健康と体力維持をかねて月に数回、近くの高塚山に登ることにしています。ふもとから 30 分ほど歩くと展望台に到着。そこからは眼下に明石海峡大橋、遠くに大阪湾から四国までが見渡せます。ある初冬の日の午後、たまたま 2 人の方がおられ、「いい景色ですね」に始まりお互い話に花が咲きました。一人は 90 才、一人は私と同年。お互い誰からともなく色々話し合うことになりました。90 才の方は終戦直後の韓国から生死の境を越え舞鶴港に到着されたとのこと。3 人で世界情勢のこと、戦争のこと、人間とは何か、未来のことなど、気が付けば一時間ほどのおしゃべりとなりました。同時にこれまでの生涯を振り返り、現在を考える機会ともなりました。

思い返せば、物心ついたころの思い出は疎開先から戻り日々配給に頼る生活でした。我が家の上空を米軍機が低空飛行したことも目に焼き付いています。小学校入学当時の学校給食は米軍から提供された果物の缶詰でした。戦後の貧しい状態を脱するきっかけは 1950 年に始まる朝鮮戦争特需で、それをきっかけに国民のハングリー精神に火が付き、がむしゃらに働き、もの作りにたけた国民性が功を奏して 1970 年頃には国民総生産 GDP が世界第二位になり、バブル景気へと突き進みます。バブル景気は長く続かず 90 年代後半からは低成長期に入り、この 30 年はほとんど給料も上がっていない。この間、世界の潮流は“もの作り(アナログ)”から“IC(デジタル)”の時代へ移行。元来、日本人は実態の見えるアナログには強いが、なぜかしたら実態の見えないデジタルにはそれほど強くない。それでもバブル以降、自家用車は一家に一台の時代になり、今や国民は何やかや言いながらも生活を謳歌している。高齢になった今、ワイズの皆様とワイワイ楽しくやれるのはありがたいことです。

田辺征一



高塚山展望台から淡路島を望む

第 28 回西日本区大会ポロシャツ購入のお願い

12 月 16 日の実行委員会におきまして、区大会時着用のポロシャツについて協議され、各クラブにおきまして可能な限り、メンバー全員の購入を下記要領に沿ってお申し込みいただきますようお願いいたします。

価格： 1 着 2,000 円

製品： トムス 00141

半袖ポロシャツ

デザイン： 首の後ろ 1 箇所
ワイズマーク

サイズ： S・M・L・LL・3L
(ユニセックス)

☆ 皆様、ご購入宜しく!



いつも芦屋みどり福祉会にご支援いただきありがとうございます。みどり作業所の近況です。

寒さが厳しい季節ですが、みんなは市内の公園清掃や福祉センター、総合公園のビーチ清掃など頑張っています。元気に清掃作業・内職を頑張ってくださいますが、最近は特別支援学校からの卒業生など、重度の障害を持たれた方が増えてきています。日々の仕事は、少ししんどくて十分取り組めない。そんな重い障害の方にも、もっと豊かな生活、充実した日々を送っていただきたいと、令和 7 年 4 月より「生活介護」という新しいサービスを開始することとなりました。協力医、看護師の職員にも健康チェックをしていただきながら、いつもの清掃作業、内職に加え、音楽療法、絵画などの制作活動、体操、散歩などの新たなプログラムを追加することで細やかな見守りや支援、元気で楽しい取り組みをするため、今準備中です。まだまだ手探りの申請中の事業ですがしっかり前に進んでいきたいと思っています。どうぞ応援してください。今月 2 月 27 日 28 日には、和歌山アドベンチャーワールドに観光バスで一泊旅行に出かけます。こちらも帰ってきたらご報告したいです。みんなで楽しんでいきます。



写真は昨年 12 月障害児・者作品展に出品した作品です。下の 2 枚は大きな貼り絵です。どれも一年がかりで取り組んだ力作です。



芦屋みどり作業所 大澤昌子

西日本区事業目標(各種献金)のお願い!

Y サ・ユース	2,700 円	BF	1,500 円
地域奉仕	1,000 円	RBM	500 円
TOF	1,000 円	YES	500 円
FF	300 円	合計	7,500 円

先日お渡ししました封筒に金額を記入の上、提出ください。

『 聖句 読み説き 』

「ヘロデは占星術の学者にだまされたと知って、大いに怒った。そして人を送り、学者たちに確かめておいた時期に基づいて、ベツレヘムとその周辺一帯にいた二歳以下の男の子を、一人残らず殺させた。」この幼児殺害のヘロデ王は、権力欲から自身の家族をも殺害していた独裁者だった。ベツレヘムに滞在中のヨセフとマリアは天使から事前に知らせを受け、誕生した幼子イエスと共にエジプトに避難する。イエス誕生の福音書記事はマタイとルカでは相違点がある。マタイはユダヤ人に向けて、メシア誕生を強調しているが、ルカはすべての人々の救い主、平和の主を強調している。福音書は神が様々な方法で人々を導かれることを伝えているが、ここでのマタイとルカの共通点は、「イエスはベツレヘムで生まれ、ナザレで育った」という点である。ナザレは都エルサレムから遠く離れた北方の辺境の地ガリラヤであった。ヘロデ王の死後も息子のアルケラオがユダヤを支配しており、ヨセフと家族はナザレで暮らすこととなり、イエスはガリラヤのナザレから宣教をスタートし、伝統的ユダヤ教律法学者たちとは対峙しながら、悲しみ、傷つき苦しむ民に神の愛を伝える「ナザレ人」と呼ばれる存在となったのである。 羽太英樹

2024年1月第2例会議事録

場所： 芦屋市民センター別館 216 号室

日時： 1月22日(水) 18:30～20:00 (敬称略)

参加者： 柏原会長・上野書記・桑野会計・島田 恒・田辺征一・福原吉孝(各ワイズ) & 横山担当主事

議事・報告

◇2月22日(土)神戸クラブ祝会

参加者：上野恭男・柏原佳子・桑野友子・島田 恒
田辺征一・濱瀬眞知子 6名 会費： 振込済み

◇12月12日(水)留学生交流会

市民センター218号室
お弁当(800円)・お菓子・お茶(ペットボトル)を準備
参加人数： 留学生、職員 13名 合計 26名

◇4月13日(日)14時～16時 島田 恒ワイズ
「出版記念講演会」開催、六甲部EMCに繋げる

会場： ラポルテホール
会費： 3,000円(書籍代金含む)

◇4月6日(日)さくら祭り 第1例会とする
提出書類済み・写真入り免許書・マイナンバーカードをコピーし提出準備

◇次年度の芦屋クラブ奉仕分担： 地域奉仕事業主查
福原吉孝ワイズに決定・報告済み

◇12月会計報告の承認

書記 上野恭男

編集後記： ◇2月に入り猛烈な寒波襲来、普段は雪のない九州まで雪景色を TV で見ると、つくづく阪神間の気候の良さに感謝です。とは言え、寒いですね。◇1月はワイズの行事がなく(参加しなかった?)皆様のエッセイ・原稿で紙面を埋めました。◇2月は恒例の留学生交流会・神戸クラブの周年記念等、行事も多くなります。皆様できるだけ参加して、どんどん投稿ください。 桑野友子

留学生交流会参加者氏名

クラス	氏名(カナ)	国籍	性別
初級 1	ウエノ ハイミツシュ	日本	男
初級 2	タン ジン	ミャンマー	男
初級 3	ユウ ベン(由 冕)	中国	男
初中級 1	サ カウン カウン テツ	ミャンマー	男
初中級 1	チョー ピエ ピエ ミョー	ミャンマー	女
初中級 1	ミョー ミン タンツ	ミャンマー	男
初中級 1	モー テウザー	ミャンマー	女
初中級 2	ソウ サン シ ポウ	ミャンマー	男
初中級 2	イ キョ カイン	ミャンマー	女
初中級 2	チエー サイン リン レツ	ミャンマー	女
中上級 1	カッン ヤティ チョウ	ミャンマー	女
中上級 1	キン ミョー タント	ミャンマー	女
職員	ショウ イイツ	中国	女

YMCA ニュース

2024年度 神戸 YMCA 第2回 YYYフォーラム

阪神淡路大震災から 30 年が経ちました。「こうべあいウィーク」内開催イベントとして、2025年1月18日(土)、2024年度



神戸 YMCA 第2回 YYYフォーラム「あれから30年。『みつかる。つながる。よくなっていく。』社会を目指して」を開催しました。会場のこうべまちづくり会館には、ワイズメンズクラブ・常議員・職員・ユース・一般の方・石巻から駆けつけてくださった



方など、44名の参加者が集いました。来るかもしれない「その時」に、YMCAを通して私たちにできること、私たちにとって大切なものは何かを、ともに考え、分かち合いました。社会のなかで声小さくされている方の視点から考え、想像を膨らませながら実施したワークは、今回のためのオリジナルです。参加くださった方々のおかげで、ワークはかたちとなり、実り多き発見の時間となりました。ご参加いただいたみなさま、支えてくださったすべての方に感謝いたします。 担当主事 横山徹太郎